朝刊

赤軍防禦線全線潰滅に瀕す

アゾフの戰鬪完了
獨軍に輝やく勝利
赤軍捕虜十萬六千餘

【ベルリン十一日同盟】ドイツ軍司令部十一日發特別發表＝

一、アゾフ海地區の戰鬪は輝かしい勝利を收めて完了した

一、すなはちこの戰鬪においてフォン・マシユタイン將軍麾下のドイツ軍歩兵、ドミトレッチユ將軍麾下のルーマニヤ軍およびフォンクライスト將軍の率ゐる戰車軍團はレーブ將軍のドイツ軍部隊との協力のもとに赤軍第九、第十八軍團の大部分を殲滅した

一、ドイツ軍は右の戰鬪において赤軍捕虜六萬四千三百廿五名、戰車、裝甲車百二十六台、大砲五百十九門、その他武器多數を鹵獲した

一、九月二十六日以降、右地區のドイツ軍およびイタリー、ハンガリー、スロヴアキヤ同盟軍、フォン・ルントシュテット將軍麾下のドイツ軍は赤軍捕虜十萬六千三百六十五名、戰車、裝甲車二百十五臺、大砲六百七十二門を鹵獲した

獨軍、ツーラ占領か

【ニューヨーク十一日同盟】ユーピーロンドン電がヴイシー放送を傍受した報道として傳へるところによるとドイツ軍は十一日ツーラ（モスコー南方約百五十キロ）を占領した

【ニューヨーク十一日同盟】ユーピーベルリン電によればドイツ軍はすでにモスコーを距る百四キロ以内の地點に進出、その先鋒部隊は間もなくモスコーを視界に收め得るものと見られてゐる、なほドイツ軍司令部はアゾフ海地區戰鬪の完了を發表したが、これによりドネツ盆地防衛の赤軍最後の抵抗は潰滅した

頑强に抵抗（ソ聯側の發表）

【モスコー十一日同盟】…は北方に對するドイツ軍の壓力は漸次増大してゐる、ドイツ側では赤軍の大包圍網を報じてゐるが、ソ聯側はこれに對し有力なる赤軍をもつて防衛に當り、各所においてドイツ軍を驅逐し、特にヴイヤジマ地區においてはチモシエンコ將軍の主力は頑强な防衛陣を維持してゐると報道してゐる。しかしてドイツ軍はこれらの戰鬪において大損害を蒙り險惡な道路と兵站狀態の不良のため前進に當つて多大の困難に直面してゐるといはれるが、いづれにしても次の數週間における戰況の展開は最も重大であり、おそらく獨ソ戰に決定點をもたらすものとして注目される

ナポレオンの轍は踏まじ
獨軍露都攻略の成功性

【東京電話】獨軍のモスコー進擊…

…と中部戰線のソ聯軍殲滅作戰は日一日と熾烈を極めモスコー包圍の鐵環はじりじりと強固に締められて行く、…ソ聯情報局長官が、獨軍はモスコーにやつて來ると…いふが、それはソ聯軍の捕虜と…なつて來るのだ

と豪語したのも今怒濤のやうに押寄せて來る獨大軍の前に吹き飛ばされてしまつた、一八一二年のナポレオンの二の舞をやるのだといふ希望的な觀測も宣傳も現實の前に泡のやうに消えて行かうとしてゐる、開戰當初からモスコーは強固な陣地で守られてをり、獨軍によつてもたやすくは陷れることはむづかしいかも知れないが、獨軍から見ればモスコーの占領などは問題でなく不敗を誇つた赤軍を今後再起不能にまで殲滅すれば獨ソ戰はこゝに一應終了し、ドイツは他に運用して英本土攻略にも近東作戰にも使用出來るわけで英米陣營にとつては決定的な脅威となるのだ、ナポレオンのモスコー攻略と今度の獨軍の場合を比較して見ても大體次のやうな五點に決定的な相違が見られ、獨軍モスコー攻略の成功を裏付けてゐるやうだ、すなはち

第一は 歐洲大陸における國際情勢の相違であつて、ナポレオンの場合はフランスの周圍はほとんど敵國であつたが、今ドイツの敵はソ聯だけといつてよく他はイタリーをはじめ盟邦の占領地のみでしかもイタリー、ハンガリー、ルーマニヤ、ブルガリヤなどの反英十字軍も起つてゐる

第二は 當時と比較にならぬ大兵力が動員されてゐる、ナポレオンは僅か三、四十萬の軍隊を率ゐて攻擊したが、ドイツはこれの十倍以上を動員してゐる

第三は 交通運輸および機械化兵器の發達による軍機動力の増大がモスコーへの距離を當時に比して著しく短縮してゐる

第四は ソ聯軍の戰略戰術が第一線、第二線、第三線などの陣地を作らず待避作戰を避けて第一線に全部隊を集結し赤軍にたたかれ却つて戰力低下の逆効果を來してゐる、第五はナポレオンのモスコー攻略は中部戰線の一本だけだつたが、獨軍は北は北氷洋から南は黑海にわたる全戰線に展開してソ聯軍のナポレオンに對するやうなかけひきをやる要領を奪つてしまつたことである

婦女子モスコー退去命令

【モスコー十一日同盟】ソ聯政府は十一日緊急軍事活動に從事せざる婦女子は全部モスコーを退去すべしとの命令を發した、右につきロゾフスキー情報局次長は次の如く語つた

モスコー爆擊開始以來婦女子はすでに引揚を開始してゐるが、獨ソ戰鬪は今やますます激烈となりつゝある有樣だし、また今のところモスコー包圍は行はれてゐないが、やがて行はれるに違ひないから、政府は戰時産業に從事してゐない婦女子にモスコー退去方を指令したのである

五行知識
ボロヂノ

一八一二年九月七日ナポレオンの率ゐる十三萬の軍勢とクツウゾフ麾下の略同數の露軍との大激戰はネイ、チボー兩將軍の卓越した作戰によつて佛軍に凱歌が擧つたが、クツウゾフ軍が退却したに拘らず佛軍はこれを追擊し得ない程疲勞の極に達してゐた。これが有名なボロヂノの會戰であつてヴイヤジマを突破したナチス獨軍は今やこのナポレオン思ひ出の地ボロヂノを距る數粁の地點に迫つてゐる。

ボロヂノはモスコーとヴイヤジマの中間（百廿粁＝三十里）モスコー河の支流カルガ河畔に在る小部落で恐らく近日中にこの地點での獨ソ軍の會戰が新聞紙上にデビユウすることであらう（けふの解說朝鮮軍報道部囑託高井邦彦氏）

濁流渦巻く沂水を渡河
敗殘新四軍を擊摧
山東省南部掃蕩多大の戰果

【山東○○前線にて十二日同盟】山東省南部に蠢動する敗殘新四軍を殲滅中の八木、豐田、小林、原田、綠川、沖野の各部隊は頑强に抵抗する敵を隨處に擊摧、多大の戰果を收めつゝあるが、十二日朝までの綜合戰況次の通り

一、豐田、小林各部隊は十一日朝來敵約五百を○○地區に包圍殲滅し、同夕刻には沂水右岸地區に進出した

二、十二日朝來山口部隊は山東、江蘇省境の長城において頑强に抵抗する敵を擊滅、豐田部隊に呼應して包圍圈を壓縮中

三、八木部隊は十一日午後濁流渦く沂水を渡河して敵の背後に進出、また原田、綠川、沖野の各快速部隊は隴海線および大運河線を突破して敵の側背に進擊を續行中である

○○より行動を起した神代、赤塚の各部隊とともに同地區内に敗在する將兵を隨所に擊破、十日午前敵遊擊司令部所在地邳縣を急襲してこれを完全に占領後原田、綠川、沖野各快速部隊はその快速を利して隴海線南方の敵背後に進出わが猛擊を逃れて西南方に遁入せんとする敵を捕捉中である、なほ十一日夕刻までに判明せる敵第百十五師團殲滅戰々果次の通り

敵遺棄死體三七一▲捕虜九三▲鹵獲品小銃二〇九、輕機七、洋砲二、糧秣八萬斤

邳縣（敵遊擊司令部所在地）を占領

【濟南十二日同盟】山東省南部江蘇省北部の共産軍殲滅中のわが各部隊の戰況次の通り

一、豐田、小宮、小林の各部隊は十日共産軍第百十五師を擊滅後敵を急追、十一日午後沂水右岸に到達、一方山口その他各部隊は山東省南部鄒城西北十八キロの長城において頑强に抵抗する敵を擊破して前進を續行、十二日午前豐田部隊との連繫成り敗敵の退路を遮斷した

一、十日未明行動を開始した綠川、原田、細井などの各部隊は江蘇省北部の平野を疾風の如く進擊同時に…

歸國米人も便乘
米向け邦船、米側發表

【ワシントン十一日同盟】アメリカ國務省は十一日日本船のアメリカ向け配船決定に關し左の如く發表した

…

引揚便船來港
在留邦人歡迎

【サンフランシスコ十一日同盟】…在留邦人はいづれもこの吉報を歡迎してゐるが、目下米國から引揚げを豫想される人數はサンフランシスコ約三百名、ロスアンゼルス約三百名、シヤトル約二百名、ハワイ約一千名でほゞ二千名にのぼる見込みである

南總督きのふ春川へ

南總督は十三日執り行はれる江原神社國幣小社御列格奉告祭に勅使として參向するため十二日午後一時卅五分近藤秘書官、戶之内副官等を隨へ城東驛から鈴川京畿道知事、瀨戶同警察部長、矢野京城府尹その他官民多數の見送りを受けて春川に向つた、なほ歸城は十三日午後六時の豫定である【寫眞＝京城驛出發の南總督】

江原神社に到着、直ちに齋館參入

【春川にて井上特派員發】江原神社御列格奉告祭の勅使として春川に向つた南總督は十二日午後五時卅分春川着、驛前沿道に整列する道廳職員、警防團、在鄉軍人、青年團、婦人會、學校生徒の奉迎を受けつゝ同四十分江原神社に到着、直ちに齋館に入り近藤秘書官、鈴木祭務官、酒井地方課長、戶之内副官等隨員と共に潔齋、心身を淨め奉祀、なほ奉告祭は十三日午前十時から江原神社で嚴かに執行される

週間外交展望
【東京電話】

獨ソ戰最高潮に達す

ヒ總統が　去る三日の冬季救濟事業開始式演說の冒頭において四十八時間以前から新しい大作戰が開始されてゐると報告したが、それは果然モスコー總攻擊であつた、北はイルメン湖南方より南はブリヤンスクに至る戰線五百六十キロに配備された獨軍勢はヒ總統の命令一下一日を期して

モスコー　總攻擊戰の火蓋をきつたのであつた、ヒトラーは今度もまた物凄い崩な英米軍事評論家連の預言を完全に裏切つた、何故なればドイツ陸軍は如何に世界無比を誇つても獨ソ戰開始以來相當の損害を被つてゐるからこの低下した綜合戰力を回復し大部隊を整備して次の大作戰に移るには少くとも數ケ月を要するといふのであつた、さらに迫り來つた冬季は獨軍の作戰を一層困難ならしめるものとしてモスコー攻略戰は先づ來春に持越すといふ風に思はれた、この…

ドイツの　…

る、ヒ總統は作戰開始早々東部戰線全軍に對し自ら布告を讀みあげ冬季到來以前に赤軍を殲滅すべきことを豫告し、そのための準備は人間力で可能なる限り完成してゐることを誇示したが、この布告全文を貫いて壓倒的鬪志が脈々として流れてゐることを感ぜずにはゐられない、果して全軍の士氣は火の如く燃え全戰線通じてドイツ軍の攻勢が報ぜられてゐる

獨ソ双方の政治的意義

の戰況發表を狙み合せてこれを觀察するもモスコー北方の要所カリーニン中部戰線のヴイヤジマ…

現實の事態

中南米の動向

ブラジル

米國の焦躁

不意の空襲不斷の備へ
防空訓練第二日

季別は端境期希望
量は本年の二倍
三浦農林次官車中談
朝鮮米の内地移出

【佐藤特派員】新米出廻期を目前に控へ來米穀年度における食糧對策の完璧を期し、三浦農林次官は十一日『あかつき』で來城朝鮮總督府當局との間に内地向移出米操作およびこれに附隨する諸問題につき具體的折衝を行ひ、引つゞき滿洲國を訪れ、内地及び朝鮮に對する滿洲雜穀の輸入數量及びこれが集荷方法その他内鮮滿を一體とする將來の食糧増産方針につき打合せを行ふ筈である、今回の來鮮につき特に注目される點は從來の内地、朝鮮、滿洲國の三角バーター制を廢止し滿洲雜穀に關する限り全面的に農林省がその衝に任じ滿洲より農林省が獲得せる雜穀を改めて朝鮮に逆輸出を行ふにある、而してこの度の折衝に依つて滿洲よりどの程度の雜穀を獲得するかに依つて朝鮮米の内地移出數量が基本的に決定されることゝなるので特にその活躍は朝鮮に密接なる關係を有してゐる譯であるが大田まで出迎へた記者に對し三浦農林次官は車中左の如く語つた

不急作物作付統制
愈よ一兩日に公布

【東京電話】農林省では十日の定例閣議で決定を見た緊急食糧對策具體的施設要綱にもとづく麥類および甘藷の期的増産計畫の實施を急いでゐるが、増産計畫の中核をなす耕地の整理ならびに煙草、花卉などの不急作物の作付統制については總動員法にもとづく臨時農地など管理令第十條第一項による農地作付統制規則の制定を準備中であつたが、いよいよ一兩日中に公布する運びとなつた、新規則の要旨左の通り

一、農地權利者に對し耕作地を空地として放任することを許さない、また耕作可能の空閑地は作付を命ずる

一、主に麥類、甘藷などの作付を行つてゐる耕作地に對しては作付轉換を許さない

一、煙草、花卉の不急作物については増産計畫に從ひ…

三浦農林次官
内鮮滿食糧對策打合せ

結城日銀總裁
大陸の通貨金融を視察

【東京電話】結城日銀總裁は十二日午前九時東京驛發「つばめ」で西下したが、伊勢參宮の後へ來る十四日門司出帆の便船で渡鮮約一ケ月にわたり滿洲、北支、蒙疆、中支の各地を巡歷、大陸の通貨、金融情勢を視察する

翼贊會創立一周年
きのふ記念式

一人一

◇朴興植氏（和信社長）臨戰對策國策事務打合せのため十二日午後四時廿分「のぞみ」で京城驛へ十四日歸城の豫定
◇高元勳氏（東光生命社長）同上

東西南北

南總督總本部へ

眞崎幕僚長から説明聽取

防空訓練第一日の十二日午前十一時五分、南總督は近藤秘書官を伴つて、折から空襲警報下に緊張してゐる防空總本部を視察した、北村防護課長から網下の情報を、眞崎幕僚長代理から詳細な防空狀況を聽取したのち、高橋東參謀長、倉島報道部長、山之內參謀長、その他の總本部幹部と共に屋上に上つて警報下の府內の防空ぶりを視察、激勵して同十一時半歸邸に歸つた【寫眞＝南總督】

惡天候を克服し

各防空監視哨萬全を期す

【朝鮮軍當局談】午後五時發表＝本日は天候の關係上敵機の空襲については、一般に相當困難だと思はれたかも知れないが現在の飛行機の性能から言へば來襲して來るのは當然であらう、各地の監視に當つてゐる者は雲の關係で發見しにくかつたにもかゝはらず、平壤方面及び鐵原方面の一面とも直ちに各要路に當防空監視哨はこれを確へて報告したるため防空部隊の適切な協力と相俟つて、大部を擊墜して防空上何等の損傷はなかつた、今後不良の天候の場合も本日の狀況から考へれば來襲して來る敵は多分にあるから、

全鮮擧げて防訓に鬪魂

不斷の錬成を發揮

軍民符節一體の整備陣

第二次全國防空訓練

國土防衞に一億が擧る全國防空訓練の火蓋は切られた、大陸北部の前線基地半島は國境線に海上に內陸に敵機一機をも侵入國土を汚辱させじの固き決意のもとに嚴然の布陣を固め、不斷の錬成の成果を最高度に發揮せんと起ち上つた、半島でもこの日二千四百萬國土防衞の戰士の胸には敵性國家陣下緊迫した國際危局乘切りと謂むべき敵性破摧の不動の決意が燃えさかつてゐる、軍防空、民防空符節一體の緊密な連繫成り午前九時全鮮に亙つて防空下令は發せられ、茲に〝職場を守れ、家を守れ〟の合言葉の下に防空陣形の態勢は即時整備された、不氣味に咆哮する空襲、警戒の訓練警報が街を、山を、海を搖がすとき、逞しき鬪魂は鍛へに鍛へられてゆく

敵七機を撃墜

【朝鮮軍司令部十二日午後一時廿分發表】十二日午前敵機は京城、平壤、咸興に對し各四機乃至六機を以て空襲し來るも七機を撃墜、殘餘を擊退せり

【總督府特設防護團本部情報】十二日午前十一時廿分積善町、體府町方面の火災猛烈にして第一別館横朝鮮家屋に火災を生ず、防護團員は防火に努めなほ附近木造家屋の警戒を嚴にす、通信機關杜絕し水道斷水せり

【朝鮮軍司令部十二日午後三時十分發表】敵機六機午後三時六分鐵原上空を通過、京元線に沿ひ目下南進中、京城上空を窺へるものゝ如し

初日の被害狀況

（防空總本部 午後四時發表）

防空總本部では訓練第一日の京城府內における被害狀況と各地への敵機來襲狀況を十二日午後四時次の如く發表、更に注意事項として狀況現示員が發煙筒その他の方法で火災の實際を示した場合防護團員が指導員の指揮を待たずに焼夷直後水をかけて消してしまふ向きがあつたのに鑑み今後は指導官の指揮あるまでは注水しないやう警告を發した

一、本日午前十時五十二分京城地區に訓練空襲警報發令せられ敵六機は沙里院方面より遂に京城府上空に侵入、諸所に爆彈、燒夷彈を投下せるも總督府は何等被害なく南總督以下各首腦部全員登廳し各機能を遺憾なく確保するを得たり、尙府內の被害狀況左の如し

1、安國町五戶燒失

2、光化門十字路は落下爆彈により五名負傷

3、水道、電線一部被害ありたるも直ちに復舊

4、本町署管內黃金町四丁目、林町一帶燒夷彈落下、火災擴大中の所消防署、警防團、愛國班員必死の努力により鎭火

5、西大門署管內小火災發生したるも鎭火

6、總督府と府外との通信は一時不通となりたるも約三十分にして復舊せり

二、正午前敵機は平壤、咸興に對し各四機乃至六機を以て空襲し來れるも七機を擊墜し殘餘を擊退せり

三、午後一時二十分鎭南浦、兼二浦方面を空襲されたるが該方面は相當被害あるものと認めらる

四、敵機六機午後三時六分鐵原上空通過京元線に沿ひ南進中、京城を窺ふもの、如し

（注意）防空訓練中警報に應じて狀況現示員が發煙筒其他により火災の狀況を現示する場合は發煙筒其他の現示材料に點火後直ちに水又は砂を掛ける時は訓練指導上支障を來すを以て現示材料へは直接水を掛けるとをやめ指導官の指導に隨ひ適宜注水するやう留意せられ度し

活躍する學生軍

スハ敵機襲來

忽ち京城上空に現る

職場へ蘩ら

空襲下府廳職員の臨戰

……さから蘩らに府廳へ驅せつけ瞬く間に各自の部署に就いた、待つ間もなく同十時五十分空襲警報、京城防衞本部に頑張る杉山總務部長以下部員の顏はサツと緊張、次いで同十一時廿分いよく空襲（假想）襲來を告げる緊急警告のサイレンが唸り、緊迫の氣は廳內に流れ、府廳防護團本部の團員は直ちに部署につくとゝもに、各窓の鎧扉は〝ガラく〟と音をたてゝ降され、一部の團員は地下室へ待避して行く

かくて第一日目は數回に亙る訓練に全團員は、臨戰下の防空意識を昂めがつちりと〝職場〟を守り通した

油脂性燒夷彈も何ものぞ京城中學町愛國班の敢鬪

轟くサイレン

訓練第一日目午前九時から無言のうちに防空下令に入つたが、やがて無氣味な斷續十回の空襲サイレンが鳴り響いた〝スハ空襲〟と思ひのほかひたくと緊迫感が街を包んだだけ、突ウー、ウー、ウー、ウーと四回斷續サイレンが鳴るやとみる間に轟々敵機（假想）が飛

▲空襲警報——空襲の危險が迫つた場合、斷續十回サイレン吹鳴（五秒鳴らして三秒合間）

▲緊急警告——敵機が來襲した場合で斷續四回サイレン吹鳴、サイレンの無い地方は警鐘その他で報知するもので一定してゐないが警戒、空襲兩警報は防衞軍司令官が發令の權限を持ち、緊急警告は所轄警察署長が發するものに發するが訓練中は口頭で傳達

緊急警告で映畫中止

再開館で觀客 探れる

訓練第一日目の十二日午後二時ごろ京城東寳若草劇場では折柄興畫上映中に第一回目の緊急警告のサイレンを受け、かねて京城興行協會の申合せにより觀客の退場誘導を要求、約一千名の觀客は一旦退場した約卅分後再開館したところ先に退場した觀客が再入場せんものと殺到、これに野次馬も加はつて〝開けろ〟〝何故入れぬ〟と怒號し遂に立看板、ガラス戸を破り自轉車を破壞するなどの亂暴を働いたため、本町署員の出動となり解散命令の末やうやく事なきを得たなほ當日は日曜日でもあり各映畫館ではマチネーを行つてゐたが、緊急警告の發令と同時に退場した觀客が容易に去らず再開と同時に再入場せんものと詰め

送る慈愛の眼

遺族部隊發つ京城驛の一隅に

和服姿の板垣將軍

【十二日京城驛發 遺族列車にて村岡特派員發】菊花薫郁と九段の杜に薫り天翔り、地に伏して大君の御楯となり輝くも大陸の陸と散つた武勳の英靈が微笑んで新しく社頭の靈域に還る日、わが子、わが父、わが夫に對面する歡びにはやる胸を抑へ十二日午前十一時晴れの遺族朝鮮部隊は京城驛仕立ての特別遺族輸送列車で臨時大祭の行はれる秋空高き九段の杜へ數々の夢を抱いて急いだ

夜來の雨も晴れて驛頭には國防婦人會員が茶菓を供して長途の旅立ちを祝ふ、櫻花を形どつた遺族章を胸に飾つた六十四遺族は「朝鮮」の腕章を附け朝鮮軍人援護會全北社會課長村上村鶴氏の引率指導で列車に乘込んだ、母に手をひかれた遺兒達がはしやいでゐる傍に病人があつてはと日赤看護婦

【寫眞＝京城驛頭の遺族部隊】

松本千代さんがお伴をしてゐる、發車間際五分、突然のことである津田參謀長の先導で板垣朝鮮軍司令官が畠山、岡野田兩副官を從へて晴れの遺族晴れの旅立ちを見送りに訪れたのだ、颯風のソフト、灰無地の羽織、袴の

和服 姿だ、遺族列車中央のホーム柱寄りに威儀を正して佇立した、車中の遺族に誰かの口から「板垣將軍がお見送りに參られました」と告げた聲に遺族たちは競つてホーム側の窓口に寄つた、軍服の板垣將軍の姿を求めようとしてそこに和服の慈愛こもつた板垣大將の眼を、遺族たちは射るやうに見た、一瞬、遺族たちの双頰には一筋二筋秋風に白く淚が輝いた二日で遺族たちは將軍が非公式に微行で我々遺族たちを見送らうとの溫情の訪れであることを察知したのだ、うら若い母親本城せつ子さんが、オカツパの

遺兒 幸兒ちゃん（四）のいたいけな手をとつて將軍を指差し〝板垣大將ですョ、坊やもお禮のご挨拶をしなさい〟淚の頰を拭ひあへず懸命に挨拶をさせてゐる、

白髮の故櫻井中尉の母堂みかさん（＊）は將軍の限りない愛情に向つて合掌してゐる五ノ井少佐とみ未亡人は起立して深く頭を垂れて板垣將軍の心にも通へと默して挨拶を贈つてゐる、どの遺族の顏もこはばつて感激の淚が薄い線をひいてゐる、ホームに立つてゐる津田參謀長の目にもこの嚴肅な光景に光るものを誘つてゐる、聖戰

勃發 して九度迎へる九段社頭對面の祭、板垣將軍は自ら兵團長として大陸を馳つて頑敵を屠り、退いては陸相となり再び大陸に進んで總參謀長の要職に在つて百萬將兵を叱咤激勵し新生中國の建設に大東亞共榮圈建設に身を挺し寢食を分たぬ辛勞を續け聖戰將兵の遺族が皇國に捧げた英靈と双肩に擔つて來た、いま數多部下の到面の喜びに旅立つと聞き將軍の胸に往來する感慨は忠魂と遺族への限りなき感謝の誠心だつたのだらう、何の豫告もなく突然和服のまゝ官邸を出て驛頭に立つたのだ、將軍の溢れる人間味、それは何人をも

感服 させずにはおかない巧まぬ抱擁力の大きい愛情なのだ發車のベルが鳴つた、將軍は默して頭を垂れた、遺族は車中に不動の姿勢で起ち限りなき感激こめた感謝の挨拶を將軍に送り斷續的な情景の裡に發車した、遺族たちの感激と興奮は沈默のうちにしばらくは續くことで遺族の感懷を聽く

◇五ノ井とみ未亡人（五ノ井淀之助少佐遺族）晴國の社頭に夫と對面致しますとき、けふの板垣閣下の眞心こもつた御見送りのことを必ず御報告いたします、軍人の遺族として將軍の溫情に泣けないでをられませうか、長女康子（＊）を伴れて參りたかつたのですが不幸肺炎を病み可哀さうでした

◇本城鶴吉氏（幸正伍長の父）全く豫期しなかつた將軍の見送りに胸がつかへました、上官の方の志は定めし戰地でも同樣わが子も立派に戰つてくれたものと存じます、私も將軍の溫情に殉じる氣持が溢れました

◇張順道さん（通譯張夢龍伯母）社頭で夢龍に會つてけふのことを知らせます、故郷のことも知らせます、立派に戰死すれば私達もかうして對面させて下さる皇恩を有難く思ひます

大田驛では湖南遺族部隊が加はつた、沃川驛からは志願兵李仁錫上等兵の未亡人西原西粉さん、同弟白海君も加はつた、車窓に移る沿線の風景もしつかりと網膜に映じ社頭に伸びる半島の姿を報告しようと心がける遺族たちだつた、この日の遺族列車の機關士大田機關區祇川信義氏は重い使命に一杯の責任感をもつて一路南下した

九州部隊も東上

【門司支局電話】晴國の社に護國の神と祀られる父、子、兄、弟と社頭の對面をする晴れの九州、山口地方遺族部隊は陸軍下關發の遺族專用列車で東上しつゝあるが十二日はまづ午前九時廿分發鹿兒島部隊九百名、午後一時五十分發では山口宮崎部隊約九百十三名が何れも下關發上京、父を失ひ子を失ひつゝなほ懸命に、田に、畑に工場に銃後を守る遺族たちの顏は晴れの對面を目の邊りにし喜びに輝きわたつてゐる

一同元氣で

一路東上

【釜山電話】秋澄き晴國の社頭に懷しの對面をする全鮮の遺族部隊を乘せた遺族列車は、十二日午後九時十五分防空訓練中の釜山に着、釜山軍事援護會支部その他に迎へられ、釜山部隊十名を加へ直ちに連絡船金剛丸に乘込んだ朝來釜山地方は多少荒氣味であつたが晝ごろから次第に天氣も回復し、一同の出發する時分にはすつかり晴れ、風も凪ぎ上天氣となつた、かくて一行は官民多數の見送りを受けつゝ定刻十一時四十五分釜山を後に一同元氣一杯に一路東上の途についた

愈よ十三日

遺族受付を開始

【東京電話】晴國神社秋の臨時大祭もいよく後二日九段の杜を中心に新祭神の遺族を迎へる準備は全くなつた、去る六日から境內に設けられた祭典本部接待係では上京する三萬遺族に贈る十萬ものの包裝を開始してから始まる六日、十三日午前中に全部の包裝を了へて各受付所に運びこみ受付開始を待つばかりとなつた、これに奉仕した愛婦、國婦、大日本青少年團員は延人數約一千二十名餘りで受付開始を十三日に控へた境內には胸に遺族章も晴かしい狀況、遺族も混つて秋晴の日曜日、玉砂利を踏む人々の足音も爽かである、遺族受付は十三日午前九時から午後四時まで、十四日午前八時から午後四時まで、十五日午前八時から同十一時まで受付場所は次の通りである

遺族番號一番から四千八百番までは晴國神社拜殿傍の第一受付所、同四千八百一番から一萬二千八百番まで九段坂上東部第二受付所、第三部隊構內の第二受付所、同一萬二千八百一番から一萬四千四百番まで晴國神社北側市立一中西門の第三受付所、付所は以上の三ケ所であるが十五日は大祭委員長の挨拶、招魂式の御儀などがあるので上京する遺族は成るべく十四日中に受付を濟ますやう祭典本部では希望してゐる

なほこの際遺族章を佩用し案內狀參拜章、證明書認めを必ず持參してこの手續を濟ませて置かないと大祭參列の資格を失ふこともあるから注意を要する

防空下の結婚式

皮肉、訓練第一日は大安

訓練第一日目の十二日は滅多にない天一天上、然も大安といふので折柄の警戒管制も物かは朝鮮神宮だけで華燭の典が十一組も擧げられた、訓練期間中に結婚式を擧げては不可んといふ掟はなく、生めよ殖やせの御時世だから少しも悪くはないのだが、心臟の强い連中は厚かましくも總督府防護課へ電話をかけて

『何とか援護變中だけでも猶豫して貰へませんか』

とか、又なかには

『僕は結婚式をやるんですが空襲は何時頃ありますか』

と全然防空の何たるかを辨へぬ心臟組が飛出し、微苦を憂慴して職員を持ち込んでゐる

京商

防空陣の一翼へ起ち眞剣な態勢を示す

【寫眞＝京中の防訓】

京城商業學校四年生五十名は十二日午前十時京城本町警防團本部へと起ちあがる銃後學徒たちの力强い軍國調であつた

……勇しく、手際よく働きのける非常の整理ぶりは、教室から街頭を訪れ正課長の激勵挨拶の後勇躍各分擔に配屬され、京商總力隊の學徒も頼々しく活動に移つた事、やヒルの屋上高く双眼鏡片手に對空監視につく者、巡邏步哨にて一般な生徒の姿を見せる等先驅の警防團員を感心させた、演習中は教官も同行する苦である

……かけ合に低空混亂を亨し、城壞の如きは專門興行を停止するに至つた

今次訓練が『家庭を……れ職場を守れ』の聖戰國體のものであるだけに特に大きな話題を提供した

北村防護課長談

『今次のやうな重大な意義を持つ訓練中に映畫を觀たり魚釣り山登りなどに出かけることがいい事か惡い事かは別問題として緊急警告が發せられたら映畫觀覽者は直ちに退場して家庭や職場を守るやう指示を一した、一たん出た觀客の再入場については全然干渉してゐない、映畫館や劇場は外國に於てむしろ絕好の避難場とされてゐるが、日本では無理だらう

若草劇場側談

『京城興行協會では上映中に緊急警告を受けた場合退場せしめる觀客の再入場問題について協議した結果、遂に無効にすることになりました、これは京畿道の指示でもあり各館とも入口に看板を出してゐましたが、訓練第一日目當方では明治座と相談のうへ劇券を渡して劇券所持の方に限り、再入場を許しましたが、本町署長も視察に來られてそれが宜からうといふとでした、第二回の緊急警告を受けて觀客の退場を願ひましたが、館の外に出たが容易に歸らず、再開館の際は新入場者があり、また劇券を貰つて新入場する者あり で收拾がつかなくなつたので止むなく劇券所持者の入場も斷つた次第です』

特題特急

☆……敵機空を襲ふ第二次綜合防空訓練の第一日、まさか非常訓練よりも趣味が重要だといふのでもあるまいが、この日京城驛から魚釣り、投網、ハイキング、芋掘りなどに出掛けた人がざつと七百名、仁川へ、水原へ、新幕方面へとそれでも朝の早目にこそこそと人目をはばかつたのは先づよかつたが

☆……さて獵場に着いて愛用の糸を垂れた瞬間一天俄にかき曇り醜態を呼ばんばかりの潮風は糸をも綱をも吹き流くつて流石の天狗連獲物を前に手のつけやうもない

☆……外方ぐく〳〵に濡れた身體にからのびくを提げて防訓に緊迫した街に降りた一團—こりや今日はやつぱり罰が當つたわい—は頼母しき自覺？

～けふの天氣～

京城地方　晴時々曇り

仁川地方　西の風晴れ一時曇り

全國厚生運動競技會
今秋東京に於て開催

【東京電話】戰時下國民の體力増強と健全な國民生活の維持は最も緊要の問題であるが、日本厚生協會では去る十三年四月厚生省の外廓團體として創立以來、國民厚生運動の實踐に邁進してゐるが他方においてもこの厚生運動に對しての認識を深めすでに一宮市の音樂正協會、岡山およびキール厚生協會

それに山形の體育協會など厚生運動の實踐團體が續々誕生して健全娛樂によるこの勤勞力行精神の涵養に努めてゐるがこのほか廣島、八幡、京城、新潟、甲府などの各地においてもこの運動に特に關心が寄せられてゐる

同協會は毎年厚生大會を開いてその實踐に邁進、昨年は東亞共榮圏をはじめ滿洲國など十八ヶ國の代表を大阪に招いて興亞厚生大會を開催して戰時下日本厚生運動の粹を世界に示したが、今年は時局柄この厚生大會に代るものとして今秋國民厚生運動全國競技會を東京に開くがこのほか新しい試みとして厚生省後援のもとに地方における各種の厚生運動、例へば流鏑、祭禮行事運動會、素人音樂會など生活の樂しさや勤勞の喜びを現はす寫眞を十二月廿五日までに一般から募集、一等百圓以下五十圓、廿圓の賞金を贈る計畫を樹ててをり聖戰下銃後國民の健全生活の培養に努めることになつてゐる

秋の六大學野球戰

5—2 帝大善戰も空し
明大順當の勝利成る

【東京電話】六大學野球秋季リーグ明大對帝大戰は十二日午前九時卅五分神宮球場で開始、結局5—2で明大勝つ、閉戰十一時廿六分(審判)土生谷(球)本郷、杉口、長瀬(壘)先攻明大

明大	000302000	5
帝大	002000000	2

戰評 敗れたりとはいへ、この日の帝大は攻守ともに非常な活氣を示して善戰した、明大の意表に出て登場した東大倉橋は横投げの曲球と時に交へるアウドロに妙味をみせ、打氣にでる明大打者を凡打に討取り、三回好機を掴み四球安打と激失に二點を先取したが四回倉橋崩れ四球の連出と安打に、明大に逆に二點をリードされた、このリードに明大は落着きを取戻し六回一死滿壘から宮本の右前安打と原田の二匍で二點を追加して大勢を決した、明大の勝利は順當だが帝大の奮戰もまづ賞してよからう

5—3 早、堂々と勝つ
法政打陣粗雜に敗因

【東京電話】六大學野球秋季リーグ早、法戰は、零時五分開始審判桜井、關口、本郷、土生谷、早大先攻結局五—三で早大勝つ閉戰一時五十分

早大	010003100	5
法大	001000101	3

戰評 石黒柚木ともなかなかの好調でカーブ多用のうま味あるピッチングを示したが、兩軍打者も潑剌として活氣横溢の熱戰となつた早大は二回二死後笠原中前安打し中島四球石黒の左前安打に一點を先取、法政も三回糠田の三匍失に田川の三壘打で一點を返し同點に試合を進めた、しかも四、五回早稻田が三人宛柚木に片附けられたに反し法政は四、五回、安打四球で出壘し氣勢をあげたが、併殺や石黒のカーブに屈服して後援續かず、六回、早大は松井の安打小川、近藤の四死球で無死滿壘辻井の二匍失に一點を拾ひ笠原の中前安打に二點を加へ法政の頽勢に拍車をかけ、七回早大は小川の好打と法政池田の凡失に一點を追加し、その裏法政は福居の死球に續いて糠田、池田の二安打で無死滿壘の好機を掴みながら一點の收穫に終り九回糠田四球出壘にはじまる好機も小川安打服部の二壘打で一點を報いたのみで兜を拔いてしまつた、早大勝利の原因は石黒の好投にあるがまた、反面法政打陣の粗雜な選球と强振も看過出來ない

3A—1 立教、慶應を破る

【東京電話】慶立戰は慶應先攻二時二十三分開始、審判角田、長瀬、西村、淺井三A—一で立教勝つ、閉戰四時三十分

慶應	100000000	1
立教	20010000A	3A

戰評 慶應勝てば優勝催賞、立教に凱歌あがれば大結の早立戰が優勝戰といふ微妙な一戰だけに兩軍の氣魄横溢してゆたかな敢闘を展開した、慶應、勝頭根津二壘打、大舘安打で一點を先取幸かなスタートを切つたが、高塚は球に伸びがなくその爲に……

京城府營弓道々場
東洋一を誇つて落成式

東洋一を誇つて竣工成つた京城府民の錬武道場、京城府營弓道々場の落成式及び道場開き式は十一日午後二時から京城運動場同道場で嚴かに執行された、軍部平山中佐兵事部石谷中佐以下軍官民多數列席のもとに開式

神式による式は先づ修祓に始り國民儀禮、矢野府尹挨拶、工事報告、祝辭あつてのち、城大内田金弓道教師の開射禮、伊藤奉主府會議員の矢渡式、山下順平氏外十名の範威弓道家らからなる射禮が古風床しくあつて閉式した

普專優勝
綜合體育大會卓球演錬

第一回朝鮮學生戰力增强綜合體育大會の卓球演錬は、十一日午後一時から京城府營コートで開催、午後九時まで敢鬪八時間の末【個人】【團體】ともに普專が優勝

◇團體戰
▲決勝

【普專】4—1【大學】

金城	2—0	朱大野
金海	2—0	大野
李東源 白泰均	0—2	閔金準
金城	2—1	金準
李東源	2—0	樋口
金海	2—0	大野

(以下不戰勝)

大山—閔 金本—朱

◇個人戰
▲準決勝
金城(普專)2—1 金漢(普專)
大山(普專)2—0 金(齒專)
◇決勝戰
大山(普專) 棄權 金城(普專)

蹴球排球などの五種目日程決る
明治神宮國民大會

【東京電話】第十二回明治神宮國民體育大會ラグビー、蹴球、排球籠球、漕艇、庭球五種目の演練について左の如く決定した

▲ラグビー、蹴球(外苑競技場)
十月三十日(午後一時二十分)
實業團東西對抗
十一月二日(午前十一時)
中等學校東西對抗
▲排球(外苑水泳場籠球場、外苑競技場)
十月三十日(午後一時)
一般男子、一般女子第一回戰
十一月一日(午前八時三十分)
一般女子、第二、三回戰
同二日(午前十一時)
一般男子、一般準々決勝、準決勝
同三日(正午)
一般男子、一般女子、決勝戰
▲籠球(外苑水泳場、外苑競技場)
十月卅一日(午後零時卅分)
一般男子第一回戰、第二回戰
一般女子第一回戰
十一月一日(午前八時卅分)
一般男子、第三回戰
一般女子、第二回戰
同二日(午前八時卅分)
一般男子、一般女子
各大學高專對抗各準決勝
同三日(午前八時)
一般男子、一般女子
大學高專對抗各決勝
▲漕艇(戸田コース)
十一月二日(正午)
中等學校固定席艇豫選
高專固定席艇豫選
同決勝
同三日(午前九時)
エイト豫選、同決勝
舵手つきフォアー豫選、決勝
一般固定席艇豫選、決勝
中等、高專固定席艇準決勝、決勝
▲庭球(日比谷公園)
十月卅一日(午後一時)
男子中等府縣對抗(日比谷)
硬式一般男子試合(田園)
十一月一日(午前八時卅分)
女子中等府縣對抗
女子一般(日比谷)
硬式一般男子試合(田園)
十一月二日(午前八時卅分)
男子一般、男子壯年(日比谷)
硬式一般男子試合(田園)

學生綜合體育の印象

閉會式の光榮に勇み立つて嚴肅な開會式に展かれた第一回朝鮮學生戰力增强綜合體育大會は十一日の夕方、二日間に亘る鍛成の幕を閉ぢた、高度國防國家建設の一翼に乘り出して打ち建てた學園の總力戰體制確立部門が全鮮的に綜合はじめて試みた學徒の綜合體育大會であつたが演錬行動にも大會運營に臨戰體制に紀ち上つた凛烈たる學生層の氣魄が横溢し、先づこの精神的の成果が大會の意義を大きく活かした

いはゆる野球、ラグビーの閉出し問題で物議をかもし出した擧點かこの大會自身であつただけに、それだけ注目も多大であつたが、國防訓練、武道にみた演錬の逞しい實践の足跡によつてこれから半島學生の進むべき體育の道が明示され、實戰に即應するための臨戰下の體育運目は

どうしていゝかといふ指針もここに發見されたわけである

人馬一體となつて敵陣にとびこむ騎道、砲彈がついて、集團的に突擊、あるひは三粁の距離を扶けつ扶けられつ强行する行軍の錬磨これら國防競技に滑空訓練、更にエンヂンを握つて分解機械に技を競ふ自動車の機械訓練、日本精神に血をたぎらせながら肉彈相搏つ武道など、すべて時代が要求する戰力增强への集團鍛成が十八種目に亘る多彩の大會競技のうちでも最も活躍に凛然と目立つてゐた、大會の使命とする〝學園軍事教練の延長〟はかうした國防的な鍛成に二日間を敢闘したのだつた

一方、陸上、蹴、排、籠、庭球など運動競技部門も極めて眞劍に押し進められたが、全日本的な水準に逞ふ球技があるかと思へば、半島の中等級にも劣る低調な記録に終つた種目もあつて均衡しない半島學生競技界の質的内容も窺はれた、國防、機械訓練の演錬にしても〝記錄〟といふ目標があつてはじめて向上の道があり、意欲の火が燃え盛る、かうみると文明國とゝもにある運動競技は、世がどう變遷しようとも高い水準のもとにある記錄を無視しては絶對あり得ないのだ、須く學生競技の本義に徹した不斷の鍛成をのぞんでやまない

城大は騎道の一部門のみ出場、他の演錬にはその名を見出すことができなかつた、半島學園をあげて構成したこの大會に網然と參加へて組みなかつた城大はその事情と見解が奈邊にあらうとも、半島最高の學府として、また指導の立場にある學園からしても率先して量、質方面いづれにも逞しい體力と鬪魂を揮つてもらひたかつた

大會を通じてこれが何よりも大きい印象であつた

◇寫眞=二日間の敢鬪を終へて擧行の嚴肅な閉會式

ラヂオ 十三日(月)

朝 六・二〇ニュース▲六・三〇(東)レコード▲六・四〇(大)『物の見方と氣のもちやう』香坂要三郎▲七・〇〇(東)時報(城)宮城遙拜▲七・〇一(城)ラジオ體操▲七・二五(廣)日本書紀『神代の巻』小林健三▲八・二〇(城)氣象通報▲一〇・〇〇(東)ウタノオケイコ『イモホリ』高津トシ▲一〇・二〇(城)國難と日本婦人2『明治維新前後』森田芳夫▲一〇・四〇(東)レコード▲一一・〇〇(大)劇『モモタラウ』西宮市安井國民學校兒童

晝 正午(東)時報(城)默禱外▲〇・〇五(廣)吹奏樂『シューベルトの軍隊行進曲』外吳海軍軍樂隊▲〇・二〇ニュース▲一・〇〇(東)國民皆勞と婦人座談會『働くことの歡び』谷野節子外▲二・〇〇(東)お話『ラジオの言葉』深瀨止守▲二・三〇(城)氣象通報▲二・三五(京城第二)『古毛絲、古綿の更生法』裵炳化▲三・五五(東)ラジオ體操▲三・三〇ニュース▲海上氣象▲三・五〇(東)職業紹介▲四・〇〇(東)『國民學校における養護訓導について』高田定正▲五・〇〇(東)1詩 吟指導『隨高盤抱孤圖』外佐々木孝吉2尺八『惟心』神如道

夜 六・〇〇(東)なぜなぜ問答 加藤元一▲六・二〇(東)シンブン▲六・二五ラジオメモ▲六・三〇(城)講演『國民皆勞運動基調』片岡勉▲六・五〇(東)農家の時間▲六・五五公知事項・天氣見込▲七・〇〇(東)時報・ニュース▲七・二〇(東)政府の時間▲七・二〇(東)防空の歌『空襲なんぞ恐るべき』レコード▲七・四〇(東)國道(錄音)▲八・〇〇(東)長唄『吾妻八景』芳村伊四郎外▲八・二五(大)浪花節『血を繼ぐもの』冨士月子▲九・〇〇(東)對談宿田稔外▲九・二〇ニュース(城)氣象通報・天氣見込外▲一〇・〇〇(東)時報(城)今日のニュース

第二 七・〇〇宮城遙拜▲正午(東)時報▲〇・〇五レコード(城)默禱外▲〇・一五速成國語講座梅園國成▲六・二〇對話『我が家の防空訓練』長水宜宗外▲六・四〇コドモの新聞▲六・四五兒肉の榮養價玄樺▲七・二〇家庭歌謠指導玄濟明▲七・四〇講演『公債の話』徐相▲八・〇〇(東)室內樂北爪利世外▲八・二〇レコード▲八・三〇時調と玄琴調崔秉濟▲【成興】『季節の名文』原湯芳子▲【大邱】涵養朗讀林貞姫▲八・五〇連續演談『花復化』2申鼎言▲九・一五初步國語講座成秉業

歌はぬ勝利 (28)
山中峯太郎【作】 高本清【畫】

一脈の疑惑 (四)

——鑑は、お友だち……さうだわ、それにちがひないんだもの。

公子はさう思ふと、お父さまの顔を見ながら、

『えゝ、あの方、あたくしのお友だち、そしてお兄さまのお友だち……』

二度も『お友だち』を、くりかへしいふと、お母さまがそばからあとをつゞけて、

『森の七郎と陸軍で同窓生でした。士官學校にゐました時分は、日曜によく七郎といつしよに、家へも遊びに來たりしてゐましたが、佐々木隆といつて、馬とはたしか四ツ年上でしたの、その後、脚をわるくして陸軍の方はよしたやうに聞いてゐるのですけれど』

『七郎か……』

ふくみ聲になつて、お父さまが珍しく口ごもつたり、メロンをすくひながら、小匙の手をとると、

『酷いことをしたナ、道子さんも、あきらめられないだらう』

その伯母さまの膝の上にいきなり泣きふした自分だつた、その時の氣もちの動きを、公子は、ありありと思ひ出したが、

——涙なんて、めつたにこぼす私ぢやなかつたんだわ。あれは隆が、わるかつたの、伯母さまの脇をあぐるみたいなことを、隆らしく云ひだして、その隆も禪寺にゐる、道子だけれど。

『お父さま、どうしてお坊さんに會ひに、お寺なんかへ、行つてらしたんですの』

公子は、思ひ出した隆から急に話題をかへた。

『なに……』

ほかのことを考へてゐたのが、俄に思ひついたらしい顔いろで、それが、何か急に答へられないことのやうに、また口ごもつてしまつたお父さまを見ると、公子は、ふと變な氣がした。

——いつものお父さまにないことだわ、こんなに口ごもつたり、尋ねかへしたりなさるの、隆が疲れてらつしやるからかしら。そのお父さまは、また急に附けたしていふやうに、

『そんなことは、公子に、話しても、また、わからないことなのだ』

つぶやいて、ひとりごとのやうな口調のうちに、『まだ』と強く力をこめていはれたのが、公子の耳に殘つた。

『わからなくてもいゝから、説明して頂戴、伺ひたいんですもの』

すると、また急に、

『ハ、、、』

突然と朗かに笑ひだしたお父さまに、公子は、むしろ疑ひをもたずにゐられなかつた。

——どうなすつたのだらう、こんなに突然、とつてつけたみたいに笑ひだしたりなさるの、いつもとちがふわ。お父さまほんたうに妙だわ。

馬が横から、番茶をすゝりながら、

『オイ、同じ質問ばかりするなよ、こゝは學校とちがふぞ、家だぜ』

『さうお、お家なの、だつて、わからないことは、あたし何でも質問してよ、知識慾に燃えてるからだわ』

『フ、、、知識慾ときやがつた』

馬が吹き出して、茶碗を下へおくと、

『まるで子どもみたいな奴だナ、何でも訊きたがるのは、赤んぼのやることだぜ』

『いゝわよ、あたしは子どもよ、大人は赤子の如しつていふわ。いつまでも子どもでゐたいの、ほんたうよ』

兄にからかひながら公子は、思つてゐるとほりを云つた。

——來年は二十になる。二十つて何だか、すつかり大人じみて、いやだわ。でも、こんなの一つの感傷かしら。

さう思ひながら、公子は今、お父さまの顔いろを、それとなく傍から見まもつてゐた。

——いつもと違つてらつしやるのは、どうしてだらう。

一脈の疑惑が、ひそかに波だつてゐた。

躍動する兵站基地半島
黃海道の巻 一
〝持てる道〟として東亞共榮圏確立に邁進
躍進黃海道の發展相

金村知事

内田内務部長

山本警察部長

良產業部長

本道は朝鮮中西部に位し黃海に突出した半島形にして西南一帶は海岸線に沿ひ多數島嶼とともに支那と相對し、北は大同江を隔てゝ平安南道に接し、東南は漢江により京畿道に界し、東は急峻なる山脈を以て咸南及江原道と接し全面積一千八十四方里にして耕地面積五十六萬町歩、林野面積百萬町歩に達し、人口百七十萬餘を有し、氣候及地勢は農業、水產業工業等の產業振興適地として最も優秀な地位を占めてゐる、大東亞共榮圏確立を最高目標にして聖業完遂に邁進する折柄國際情勢は益々緊迫の度を加へ國家總力をもつて戰時態勢を要請される今日朝鮮は國防上兵站基地として重要使命を擔ひ

大陸政策遂行上樞軸的地位として重大役割を果しつゝあるので黃海道では時局下國策に即應し食糧物資及軍需資源の供給基地の任務を竭しつゝある、廣大なる農耕地は改良開拓されて年々生產增加を見、森林資源は無盡藏と稱せられ、各種鑛物は到る處豐富に埋藏され、八百七十餘里の海岸線に沿ひ數多港灣島嶼を中心とする各漁場の水產物極めて豐富にして產業雄道として全鮮に冠たる位置にある、水陸交易關係を見ると本道中央部を縱貫ずる京義本線、土海線、沙海線、長淵線、谷津線等の鐵道が主要各地を縱横に貫通してをり海州港を終點港とする陸上交通は滿浦線を通じ大陸進展の樞軸をなし、全鮮最北端の不凍港海州港は黃海を隔てゝ一衣帶水的に支那と相對し海上交易最も密接なる地點にある、天然條件の地の利に惠まれてゐる本道は勇躍發展一途をたどり持てる道として高度國防國家完成に邁進してゐる

農產王國黃海道
生產擴充に拍車

本道の耕地面積は五十六萬町歩にして氣候及び地勢は營農に好適し殊に鳳山、載寧、信川、延白各郡には廣大なる平野があり米作地として有名であり、農家戶數は專業廿四萬四千戶、兼業五千餘戶にして耕地一戶當平均二町二反の割合は農家分布狀況均衡なると相俟つて理想的營農法が實施されて年々收穫增加を見るとともに道內需給を充足し餘剩穀數を內地および鮮內他道に供給しつゝある、穀物農作と共に營農對策の主なるものは左の通りである

◇土地改良 道內土地改良施行豫定面積は廿萬町歩を算し大正十三年以來水利組合の設置せられたもの十七ケ所、その蒙利面積四萬八千町歩、設備工費二千五百卅二萬圓に達し組合事業による籾の增收量は水稻品種の改良、耕地法改善、肥料增施等營農改善と相俟つて相當數を示してをりなほ將來組合設置可能のもの卅ケ所、蒙利面積四萬五千町歩に對し籾相當數の增收を期し得る狀態である

◇肥料の自給自足 氣候概ね溫和にして各種農作物に好適し全鮮一位の耕地面積を有してゐるも各主要農作物の單位面積に對する收穫高は他道に比して劣つてゐる、原因は種々あるべきも從來施肥少きため地味瘠薄による ものにして道當局では自給肥料の增產增施を奬勵することとし綠肥栽培計畫を樹て昭和十一年から二十年まで十ケ年間八千町歩の栽培面積を擴張するとともに堆肥增產奬勵計畫も同樣十ケ年間に段當平均二百十五貫を目標に每年督勵してゐる

◇米作狀況 始政當時の畓面積は七萬八千町歩に過ぎなかつたのが近年旺盛なる土地改良事業に件ひ最近に至つては十四萬町歩に達し全鮮優秀の米產地として目されることゝなり、耕種法改善、施肥增强等增收をはかり反當收量一石六斗の增高を示してゐる、道では夙に各郡に指導技術員を配置するとゝもに優良品種の普及更新、自給肥料增產と平行して乾燥調製の改善、生產販賣等各方面に亘り努力した結果近來黃海道米は大いに聲價を擧げてゐる

◇畑作物狀況 本道の農業組織は槪して畑作農業にして就中畑は耕地面積の七割四分を占め農家食糧の補給は畑作物に俟つもの多く、粟作は作付段別十七萬町歩に達し段當收量七斗五升內外、大豆は五升餘の收量にして將來なほ增殖の餘地多いので本府の畑作改良增殖計畫により年次計畫を樹て作付面積を擴張するとともに收穫增加に努めてゐる

◇棉作奬勵 時局下國際情勢に鑑み纖維資源のため特に棉花の增產を急務とするので最高度の增產を目標に棉作付二反歩以上の大規模經營の模範農家を設定し十町歩以上の集團團地造成により集約栽培を積極的に奬勵し所定目標達成のため各部に指導里設置、指導圃の設置、優良品種の普及更新の經營及び優良棉種の全婦人共同作圃の設置等、奬勵の方法はかるとともに陸地棉の全面的實施、麥間作の普及奬勵等を主眼方針として專門技術員を濃厚に配置し作付面積の擴張と單位面積の增收に拍車を加へてゐる

◇果樹栽培狀況 本道の氣候風土は果樹園藝作物の栽培に好適し春季の乾燥は授粉作用よろしく七、八月の降雨は良く果實の肥大成長を助け秋季の乾燥は果實の着色登熟を促進し果物の色澤は品種鮮麗にして香氣高く風味優良の品種を生產するが秋季の季節は風害少く氣溫の急降は害虫の越冬を困難ならしめるなど天惠の好條件の下に栽培されてゐる、本道の苹果は栽培適地として全鮮第一位を占め梨、桃、葡萄、柿等相當生產を見林檎は黃州、鳳山、殷栗各郡を中心に本道特產物として年產一千萬貫に達し生產品は內地、支那、滿洲各地へも輸出するに至つてゐる

類多水產物は到る處に豐富
沖合漁業重點主義

本道沿岸は黃海曲浦相連り海岸線の延長八百七十餘里に達し數多の島嶼を擁し良好なる漁場を形成し自ら沖合は黃海を挾んで山東省と相對し適所に好適の漁場多きことを得るなど本道水產は天然條件に恵まれ洋館の餘地頗る多い……

國防の原動力 地下資源の開發
全鮮一の鑛業道

本道は重要鑛物極めて豐富に賦存し、しかも多種類に亘ること全鮮稀に見る所にして殊に最近時局の反映により產金の奬勵、軍需諸工業の活況等に刺戟されて本道の鑛業界も亦多大の活氣を呈してゐる由來本道は全鮮的に鐵鑛產地として有名であり現に稼行中〟のもの〝主なるものは載寧、殷栗、黃州等であるがその他にも未着手の處女地も多數ある見込である

次に金銀鑛として比較的多量の生產高を有するものは遂安、栗山、笏洞、海州、長淵等にしても何れも產金の奬勵により拍車づけられてをり又軍需方面の〝タングステン〟〝硫化鐵〟は道內東北部地方に多く賦存し炭は沙里院附近に無煙炭の有煙炭があり明治鑛業株式會社の手により採掘されてゐる、海岸地帶の沿岸地方は主產地であり現方は到る處に豐富にして良質の硅砂を產出し就中長淵、翁津二郡の沿海地方は主產地であり現に採取されて硝子原料に供給されるとともに各種の工業原料として重要なる役割を演じてゐる以上の外に重晶石、高嶺土、石綿、重晶石等は素より近時螢石、滑石、硼礦等地下資源も極めて多量の狀態に置かれてゐるものに對しては將來の企業に期待されるものが頗る多い

新興途上にある商工業の發展
將來を期待する

本道は從來農業を以て產業の樞軸として發展進步して來たが輓近、工所業の國策に順應し將に飛躍の契機として朝鮮が國防上兵站基地であり日大陸政策遂行上の據點として重要性を增して來た時局に本道も亦その一翼の使命を擔つて各種工業方面も華やかに登場することとなり更に今後における農村資源の開發と相俟つて製鐵工業等の發展が期待されてゐる

製鐵工業について見るに大正六年兼二浦に三菱製鐵所工場を設け鐵の生產を開始した〟その後日本製鐵株式會社に移營し重要使命を果しつゝあるが近年日に至りては時局工業卜工業、西鮮重工業、朝鮮セメント、淺野セメント、朝鮮火藥、朝鮮カーリット、中外製作所等を見るに至つたが何れも大工業施設の操業開始つゝあり、東洋製糸を始め生糸生產、製粉會社等の勃興を誘致したる所以の一つの發揮しつゝある、各種工業に加ふるに本道最近における各種工業の活況、中小工業者の產業組合の充實、勃興等商工業の振興に對處せんが爲め當局も各種要素整備を爲し將來の企業の發揮に期待されるところである

多彩な林業政策
木炭年產百萬俵

由來本道は京城、平壤、鎭南浦等の重要消費都市に隣接せられてゐる關係上木炭、薪等重要生活必需品を始めとし林產化學原料供給地として最も重要なる地位を占めつゝあつたが事變勃發と世界情勢の急激なる變化により國家的經濟對策確立上多種多樣の要請があり、その使命は愈よ加重せらるゝことになつたので道山林會が主體となつて一元的統制の下に林業生產力擴充に强力なる拍車を加へるとゝもに適正なる消費規正をはかるなど需給の圓滑を期し國策遂行に萬全の努力を寄與してゐるが主なる事業の槪況左の通り

◇木炭の飛躍的增產 木炭は良材林の良好なのと卓越な製炭技術とにより聲價頗る高く一般消費層の歡迎するところにして他道の木炭に比較し高値に賣買せられ、平年にあつても四、五十萬俵の產出を見てをり、時局の進展とゝもに各種工業用、ガソリン代用木炭、その他家庭用として需要は急激に增加し、十五年度より一躍百萬俵の生產を餘儀なくせられたので、この目標達成のため炭材林の入手斡旋、優秀な製炭夫の養成、築窯の助成等の貸付、木炭倉庫の建築等あらゆる角度から奬勵策を講ずるとゝもに他面强力なる統制をなし大消費地の需要を充分滿足せしめつゝあるので製炭業の飛躍的發展は隔世の感がある

◇用材の生產 用材の生產は時局下最も重要性を有するものにして、本道は鑛業道として有名なるも鑛業の開發進展には多量の坑木を要するので從來主に他道より移入してゐたが、各道とも自給經濟〟ブロツク〟愈よ强固となり年とともに移入減になるので地下資源開發上影響するところ大なるに鑑み道山林會が主體となつて道內自給自足をはかるため生產資金の貸付、用材機會の實施、輸送圈の適正確立等生產擴充の强化、需給の適正圓滑を期してゐるが、最近は一小部分を他道から移入する外は道內生產をもつて充足しつゝあり地下資源開發に貢獻する所大である

◇林產資源の培養强化 時局下林產物資の增產に次ぐ增產をなす關係上將來への保續的生產維持は最も重要な問題にして積極的造林と共に稚樹の保育に徹底的の對策を實施してゐる、造林は從來年千四、五百萬本程度であつたが昨年から用材林〟を一千萬町歩に對する年產約緝の造林目標を始め、の急速なる造成等年造林を行つてゐる、保育については私有限規則の强化をはかり伐採の統制等により遂成に邁進してゐる

◇林業職員の待遇改善 輓近林業の事業量增加に伴ひ職員は必然的要請で財政上容易なことでなく職員の減私奉公に俟つことなるのは當然であるとはいへその活動振りは誠に目覺しきものがある、これら職員の待遇改善に關し種々考究の結果十四年度より道山林會が主體となつて退職の際における生活資金支給その他死亡、疾病等に對する共濟制度を實施出來る瀨共濟金支給、子女の教育に對する待遇改善をはかり一層の活動を促進してゐる